

幸福宣言都市
“とよた”発

10月号 No305

地域密着型福祉全国セミナー in 豊田

つなげよう地域の“結”の輪

～おいでん！^{ゆい}ともによりそいた^{ゆい}すけあうまちへ～

ぼらんていあ
だより

“支え合いのまちづくり”の実現は“ひとごと”ではなく、“わたくしごと”として、自分たちのまちへ関心を示し、身近な地域で自分ができることを考えることから始まるのではないでしょうか。

このセミナーでは、地域で暮らす様々な人たちが「個を認め合うことの大切さ」と「共に生きている(共生)ことの自覚」に気づき、「わたし個人の問題」ではなく「私たち地域の問題」として認識し、地域にある課題解決のために、自分たちの手で支え合う地域をどのように作っていくかについて考えていきます。

■と き 平成26年1月18日(土)～19日(日)

1月18日(土)午後1時～午後5時30分

19日(日)午前9時30分～午後0時30分

■ところ 第1日目(全体会)

豊田市コンサートホール(西町1-200 豊田参合館10・11階)

第2日目(分科会)

豊田市福祉センター(錦町1-1-1)

■参加費 3,500円(資料代含む)

※交流会費は別途(会費制)

■定員 第1日目(全体会)先着800名

第2日目(分科会)先着1,050名

■主催 「地域密着型福祉全国セミナーin豊田」実行委員会

■共催 豊田市・(社福)豊田市社会福祉協議会・全国コミュニティライフサポートセンター

■後援 (予定)厚生労働省・(社福)全国社会福祉協議会・(社福)愛知県社会福祉協議会 ほか

◎問合せ (社福)豊田市社会福祉協議会 地域福祉課

電話:(0565)31-1294 FAX:(0565)32-6011

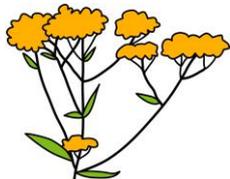
午前9時～午後5時(日・月曜日、祝日休み)



今月の花

おみなえし

(親切、永久、忍耐)



親切に
ボランティア!

ぼらんて君



“結(ゆい)”

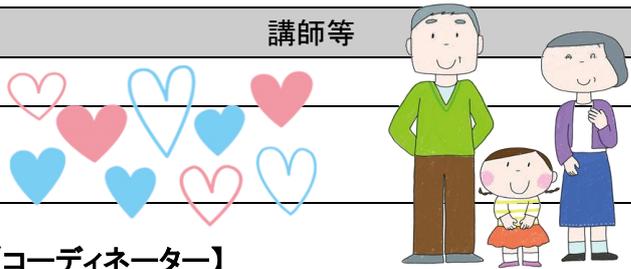
とは・・・

かつて豊田市稲武地区で「支え合い」という意味で使用されてきました。今回、豊田市では、「温故知新」。古き良き日本の助け合いの再構築を目指すという目的で、支え合いの意味の“結”と表現させていただきました。

※詳細については次の2・3ページをご参照ください。



■内 容 第1日目(1月18日) 午後1時～午後5時30分

時間	内容	講師等
12:30～	開場 ・オープニング演奏	
13:00～ 13:20	開会セレモニー	
13:20～ 14:30	豊田市シンポジウム 「寄り添い、助け合う人が住むまちづくりをめざして～わたし発あなたへ！そして地域へ～」 このシンポジウムでは、核家族化や少子高齢・人口減少社会が加速し、近隣住民同士の希薄化が進む中で、地域における支え合い活動の大切な視点として、「知り合うこと」、「寄り添うこと」、「助け合うこと」の必要性を考えます。	【コーディネーター】 ・市民福祉教育研究所 主宰 阪野 貢 氏 【シンポジスト】 ・石畳自治区 区長 峯 光義 氏 ・NPO法人ユートピア若宮 理事長 木本 光宣 氏 ・(社福)豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 中田 繁美
14:40～ 16:10	全国シンポジウム 「地域力とは？ー住民が主役の地域から見る“支え合い”の本質！ー」 このシンポジウムでは、自分の暮らす地域での地域課題や福祉課題から、住民自ら動いてできた支え合い活動の事例を基に、『支え合いの「合い』』にある支える側と支えられる側の立場の理解からなる支え合いの本質について迫ります。	【コーディネーター】 ・全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏 【シンポジスト】 ・ボランティアグループすずの会 代表 鈴木 恵子 氏 ・埴山学区すみよいまちをつくる会 会長 西村 ミチ江 氏 ・(社福)藤里町社会福祉協議会 事務局長 菊池 まゆみ 氏
16:20～ 17:30	^{てい} 鼎談 「公の役割・地域の役割ー横断的なつながりの先にあるものとはー」 この鼎談(ていだん)では、国の動向、行政の役割と地域や住民の役割について考え、様々な立場の人や窓口が横断的につながり、公と地域の「きょうどう」による「共に」「協力し合い」「地域力を強め合う」まちのあり方と地域福祉のあり方を考えていきます。	^{てい} 【鼎談者】 ・厚生労働省 審議官 古都 賢一 氏 ・同志社大学 教授 上野谷 加代子 氏 ・豊田市長 太田 稔彦 氏
18:30～	交流会 (会費制) 会場:名鉄トヨタホテル	

申込み・問合せ先

指定の申込み用紙(パンフレットに添付)に必要事項をご記入のうえ、
平成25年11月5日(火)～平成25年12月10日(火)午前9時～午後5時までにお申込みください。申込み方法につきましては、下記問合せ先にご連絡ください。
 参加申込者には、参加決定書をお送りいたします。セミナー当日は、参加決定書をご持参ください。

【問合せ先】

(社福)豊田市社会福祉協議会 地域福祉課

〒471-0877 豊田市錦町1丁目1番地1 電話:(0565)31-1294 FAX:(0565)32-6011

★パンフレット、申込み用紙は**平成25年11月1日(金)**から下記の場所にて配布開始★
 豊田市福祉センター、市内各交流館、とよた市民活動センター 等

※HP「とよたぼらんていあ広場」(<http://toyota-shakyo.jp/volunteer/>)にて閲覧・ダウンロード可

■内 容 第2日目(1月19日) 午前9時30分～午後0時30分

分科会
1

企業人も地域人!
～企業と地域のハイブリッド～

定員 150名

企業のCSRによる社会貢献活動や、企業と地域の融合の視点から、企業人が“自宅”と“会社”の往復のみではなく、自分の暮らしているまちにも関心を示し、「地域を構成する一員」との認識を抱き、地域とのつながりを作る「脱！振り子人生」に向かう道筋を探っていきます。

第1部: 基調講演

【講演者】日本経団連 総合企画・事業推進室 (調整中)

第2部: 討論会

【コーディネーター】

- ・全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏
- 【討論者】
- ・トヨタ紡織(株) デザイン部 部長 平井 慎司 氏
- ・逢妻交流館 館長 小倉 弘子 氏
- ・(公財)あすて 石黒 秀和 氏



分科会
2

地域で育むふくし教育
～人(か)やさしく、人(に)やさしい地域づくり～

定員 200名

ふくし教育が生む「地域のつながり」は、周りの人を大切に想う気持ちを育み、一人ひとりが地域住民としての自覚を抱き、「ともに生きる明るい社会」を創り出します。地域の誰もが関係のある『「ふくし教育」とは何か』を改めて見つめ直し、互いに認め合う地域づくりについて考えていきます。

第1部: 基調講演

【講演者】車いすのアーティスト 佐野 有美 氏

第2部: シンポジウム

【コーディネーター】

- ・大阪教育大学 准教授 新崎 国広 氏 (調整中)
- 【シンポジスト】
- ・(社福)豊田市福祉事業団(障がい者総合支援センター)職員 渡邊 恒也 氏
- ・拳母小学校 校務主任 松井 良仁 氏
- ・NPO法人ワーワー 理事長 藤原 ますみ 氏
- ・(社福)豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 大谷 和弘



分科会
3

備えよ、常に!あなたのまちの近助(所)が大事
～寄り添うことから始めよう～

定員 550名

過去の災害の教訓をふまえ、「顔の見える関係」を平時から作ることによる近隣住民同士の助け合いの大切さや、「災害に備えた、災害に強い地域づくり」の構築について考えていきます。

第1部: 基調講演

【講演者】パーソナリティ・書道家 矢野 きよ実 氏

第2部: シンポジウム

【コーディネーター】

- ・(社福)神戸市社会福祉協議会 長谷部 治 氏
- 【シンポジスト】
- ・愛知防災リーダー会(三河) 宮地 成美 氏
- ・豊田市自主防災会連絡会 谷澤 茂樹 氏
- ・トヨタ自動車(株)ボランティアセンター 渡会 友理子 氏
- ・(社福)豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 栗本 浩一



分科会
4

「地縁」「近縁」「知縁」
～支え合う地域のための3つの縁～

定員 150名

中山間地や新興住宅地での取り組みを参考に、近くのつながり、顔が見える関係づくり、知り合うことの大切さなどを再確認していきます。

第1部: 課題提起

※地域の生活課題を寸劇などで確認

第2部: シンポジウム

【コーディネーター】

- ・名古屋医専 教官 山村 史子 氏
- 【助言者】
- ・ボランティアグループすずの会 代表 鈴木 恵子 氏
- 【シンポジスト】
- ・パスまちサロン会 山田 良稻 氏
- ・石畳自治区 有田 美喜子 氏
- ・(社福)豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 中田 繁美



✿ ボランティア連絡会議&情報交換会!

ボランティアの方々への情報提供等と情報交換会を開催します。

ボランティア活動をしている方、ボランティアに興味のある方はどなたでもご参加下さい!

- と き 10月26日(土) 午前9時30分～11時45分
- と ころ 豊田市福祉センター 3階 34・35会議室(錦町1-1-1)
- 内 容 豊田市社会福祉協議会・豊田市ボランティア連絡協議会からのお知らせ
ボランティア情報交換会(テーマ:自分の地域の支え合いについて)

◎問合せ 豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター (4ページに記載)

申込み不要です!



豊田市ボランティア連絡協議会(連協)からのお知らせ



10月・11月の予定

問合せ 豊田市ボランティア連絡協議会事務局(交流コーナー内)
電話 35-0619(日・月曜日、祝日休み)

ボランティア(3階交流コーナー)使用済切手・ヘルマーク整理作業

・10月3日(木) 午前10時～正午
・11月7日(木)

ぼらんていあだより発送作業

・10月24日(木) 午前10時～正午
・11月22日(金)



連協では、豊田市福祉センター3階交流コーナーと1階ロビーにて様々な催しを行っています。「れんきょう交流サロン」「笑 HAHA ひろば」以外は誰でも予約なしで参加OK、参加費無料(材料費実費)です。

イベント

☆れんきょう交流サロン (3階交流コーナー) 午前10時～正午

・10月9日(水) ♪内容 マジックショー、風船あそび(マジックゼロ)

先着30人、申込み受付中 **要予約**

・11月13日(水) ♪内容 押し花で額飾り作り(個人ボランティア)

先着30人、参加費300円、申込み10月29日(火)午前9時～ **要予約**

☆笑 HAHA ひろば (3階交流コーナー) 午前10時～午前11時

・10月15日(火) ♪内容 小さいお子さんとママのための防災講座(個人ボランティア)

先着20組、申込み受付中 **要予約**

・11月19日(火) ♪内容 人形劇(ボランティア人形劇団「ころりん座」)

先着20組、申込み11月6日(水)午前9時～ **要予約**

☆ボランティア ON ステージ (1階ロビー) 正午～午後0時30分

・10月はお休みです。

・11月7日(木) ♪内容 チンドンステージ(豊田殿姫チンドン)

◆□クイズコーナー□◆

【問題】平成26年1月18日～19日に開催される「地域密着型福祉全国セミナーin 豊田」。このセミナーのテーマでもある「支え合い」は、かつて稲武地区で使用されていた漢字1文字で表すと何でしょう？

★ヒント★ 本紙の1ページをよくご覧ください。

☆クイズの正解は「ぼらんていあだより 12月号」にて発表します。



【8月号の正解】① 白 杖

白杖は、目が不自由な人のための移動を助ける道具です。

杖の先でこすったり、軽くつついたりして、道路の様子を探ります。

また、目が不自由であることを周りの人に伝える役目もあります。

※8月号の応募総数は12通中、正解12通でした。ご応募ありがとうございました。

当選者につきましては、個人情報保護のため、発送をもって発表にかえさせていただきます。

□■ ぼらんていあだよりに関するお問合せ ■□

社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター(豊田市福祉センター1階)

〒471-0877 豊田市錦町1丁目1番地1 ※日・月曜日、祝日休み

電話 (0565)31-1294 FAX (0565)32-6011 メール vc@toyota-shakyo.jp

ホームページ <http://toyota-shakyo.jp/volunteer/>

「ぼらんていあだより」の発行には共同募金の配分金が使われています。

